

**【10 月 3 日（金）開催】自治体 DX の課題を官民で議論する
「GovTech Bridge Conference 2025」初代デジタル大臣・平井卓也氏の来場決定！
～野村総合研究所などスポンサー企業の第三弾を発表。参加申し込みは官民総勢 500 名突破～**

労働力不足問題解決のリーディングカンパニーとして、複数の SaaS を展開する株式会社うるる（東京都中央区 代表取締役社長：星 知也、以下「うるる」）が主催する、2025 年 10 月 3 日（金）に東京・汐留で開催の「GovTech Bridge Conference 2025 ～CIO 補佐官*と民間ソリューションで行政 DX を加速させる、官民共創の祭典～」に、初代デジタル大臣である平井卓也氏の来場および登壇が決定いたしました。また本日、「GovTech Bridge Conference 2025」のスポンサー企業の第三弾を発表いたします。



「GovTech Bridge Conference 2025」公式サイト URL : <https://lp.govtechbridge.com>

■「GovTech Bridge Conference 2025」とは

「GovTech Bridge Conference 2025」は、自治体 DX や CIO 補佐官制度における課題を洗い出し、それに対する解決策を官民で議論するカンファレンスです。自治体の現役 CIO および CIO 補佐官や DX 推進担当者、また自治体 DX を支援する民間企業など、官民総勢 500 名以上が集結します。この規模と内容でのイベント開催はこれまでに前例がなく、自治体 DX の推進に向けた重要な機会です。本日までに官民総勢 500 名の方にお申込みいただいております。

総務省は 7 月 29 日に「[地方自治体のデジタルトランスフォーメーション推進に係る検討会](#)」の資料を公開し、これまでの取り組み状況や今後の推進計画を発表しました。日本の自治体 DX を今後さらに加速させていくことが不可欠な中、「GovTech Bridge Conference 2025」は、官民の垣根を越えた議論を活性化させ、自治体 DX を加速させる重要な機会となります。

■初代デジタル大臣で CIO 補佐官制度を確立した平井卓也氏の来場・登壇決定

このたび、「GovTech Bridge Conference 2025」に、初代デジタル大臣を務めた現衆議院議員の平井卓也氏の登壇が決定しました。平井氏は、日本のデジタル化を加速させたキーパーソンです。初代デジタル大臣としてデジタル庁を創設し、民間人材を積極的に登用する CIO 補佐官制度を確立させました。当日は、国のデジタル改革を最前線で牽引された立場からご挨拶いただきます。



＜平井卓也氏 プロフィール＞

1958 年香川県生まれ。上智大学卒。株式会社電通、西日本放送代表取締役社長等を経て、2000 年、第 42 回衆議院選挙で初当選。以来、連続 9 回当選。国土交通副大臣、内閣常任委員長を歴任。平成 30 年第 4 次安倍改造内閣にて IT 担当大臣、内閣府特命担当(科学技術・知的財産戦略・クールジャパン戦略・宇宙政策)大臣就任。令和元年 10 月自民党デジタル社会推進特別委員長に就任。令和 2 年菅内閣にてデジタル改革担当大臣就任。令和 3 年初代デジタル大臣就任。現在、自民党広報本部長、自民党デジタル社会推進本部長。

■「GovTech Bridge Conference 2025」スポンサー企業 第三弾を紹介

このたび「GovTech Bridge Conference 2025」のスポンサー企業として、株式会社野村総合研究所、株式会社エイ・シームジャパン、株式会社ワン・オー・ワン、株式会社カオナビ、株式会社 ATOMica に参画いただくこととなりました。これによりスポンサー企業は計 15 社となります。

▼スポンサー企業一覧

PLATINUM プラチナスポンサー			
			
GOLD ゴールドスポンサー			
			
SILVER シルバーズポンサー			
			
			
SPECIAL 特別スポンサー			
			

＜プラチナスポンサー＞

・株式会社セブン銀行 <https://www.sevenbank.co.jp/>

＜ゴールドスポンサー＞

・カラクリ株式会社 <https://about.karakuri.ai/>

・HENNGE 株式会社 <https://hennge.com/jp/>

・株式会社ヴァンガードスミス <https://v-smith.co.jp/>

・株式会社 LONG VACATION TRAILER HOUSE <https://longvacationtrailerhouse.jp/>

<シルバースポンサー>

- ・株式会社 コドモン <https://www.codmon.co.jp/>
- ・株式会社 PFU <https://www.pfu.ricoh.com/>
- ・株式会社 識学 <https://corp.shikigaku.jp/>
- ・株式会社 エスプール <https://www.spool.co.jp/>
- ・株式会社 野村総合研究所 <https://www.nri.com/jp/index.html>
- ・株式会社 エイ・シームジャパン <https://a-seam.com/>
- ・株式会社 ワン・オー・ワン <https://www.101s.co.jp/company/>
- ・株式会社 カオナビ <https://corp.kaonavi.jp/>
- ・株式会社 ATOMica <https://atomica.co.jp/>

<特別スポンサー>

- ・大日本印刷株式会社 <https://www.dnp.co.jp/>

※順不同、敬称略

■スポンサー募集について

「GovTech Bridge Conference 2025」では引き続き、自社ソリューションの PR やブランディング、マーケット調査やブース出展など様々な目的に合わせて最適なスポンサープランを用意しております。またガジェットや会場装飾、飲食物などの物品提供のスポンサーも広く募集いたします。ご興味のある企業様は運営事務局までお問い合わせください。

<スポンサーに関するお問い合わせ先>

「GovTech Bridge Conference 2025」運営事務局：担当 埴田

E-Mail：govtech_bridge@uluru.jp

■「GovTech Bridge Conference 2025」開催概要

イベント名：GovTech Bridge Conference 2025

～CIO 補佐官と民間ソリューションで行政 DX を加速させる、官民共創の祭典～

公式サイト URL：<https://lp.govtechbridge.com>

開催日：2025 年 10 月 3 日（金）11 時～18 時 30 分（プログラムは 13 時開始予定）

開催場所：ベルサール汐留 1F HALL・B1F HALL

主催：株式会社うるる

プログラムの内容：

基調講演 1「CIO/CIO 補佐官の役割と自治体 DX との関わり」には、総務省 自治行政局 地域力創造グループ 地域情報化企画室長 兼 地域 DX 推進室長の志賀 真幸 氏が登壇します。また、基調講演 2「多様な人材が集うデジタル庁の挑戦」には、デジタル庁 統括官付参事官の川野 真稔 氏よりお話いただきます。

さらに、「自治体 DX の課題を現役 CIO 補佐官の取り組みから読み解く」をテーマとしたトークセッション「CIO 補佐官サミット」では、全国各地で活躍する現役 CIO 補佐官が登壇。モデレーターはジャーナリストの堀 潤 氏が務めます。特別講演では、YouTube チャンネル「2030 年の未来予測」で注目を集めるフューチャリスト（未来予測士）の友村 晋 氏が登壇し、「AI 最前線！最新技術と活用を学び体験せよ」をテーマに語ります。そして総合司会は、フリーアナウンサーの小川 彩佳 氏が務めます。



■イベント開催背景

総務省は 2022 年 12 月に「自治体 DX 推進計画」を発表し、地方自治体のデジタル化に向けた理念や支援策を示しました。その中でデジタル化を進めるためには、DX 推進体制の整備やデジタル人材の確保・育成が必要としています。このことから各自治体は DX 推進方針を策定する中で、CIO 補佐官など外部人材を活用し、IT ガバナンスの強化や行政の効率化を進めています。しかしながら、CIO 補佐官の任命率は全自治体の 50%程度にとどまっており、取り組み内容も異なるのが現状です。

このような背景を踏まえ、自治体 DX や CIO 補佐官制度における課題を洗い出し、それに対する解決策を官民で議論する場として「GovTech Bridge Conference 2025」を開催いたします。



うるるはこれまで、企業へは入札情報速報サービス「NJSS」、官公庁に向けては調達購買サービス「調達インフォ」など、公共入札・調達業務の課題解決に貢献する GovTech サービスを提供してまいりました。さらに、うるるの副社長であり、子会社である株式会社うるる BPO の代表取締役社長を務める桶山雄平は、徳島県小松島市の CIO 補佐官として 3 期連続で自治体 DX を支援し、デジタル化の推進に努めています。こうした取り組みを通じ、官と民双方に寄り添い、具体的な解決策を提供してきました。

うるるは今後も、官民をつなぐ中間支援事業者として自治体をはじめとする官公庁の DX 推進を後押しすることで、日本の深刻な労働力不足問題の解決に貢献してまいります。

※CIO 補佐官とは

CIO 補佐官は地方自治体や行政機関において、Chief Information Officer（CIO＝情報化統括責任者）を補佐する役職です。CIO は、自治体や組織の情報戦略や IT システムの導入・管理を統括する責任者であり、CIO 補佐官はその役割を支援し、専門的な助言や実務的なサポートを行います。自治体の IT ガバナンスにおいて重要な役割を担い、IT に関する専門的な知見に基づき CIO およびその取り組みを支援することで、自治体の電子行政の高度化・効率化・合理化などに寄与します。具体的な役割としては、情報戦略の立案や推進、技術的な助言、業務プロセスの改善提案や官民連携の推進などを担います。

【うるるグループ 概要】株式会社うるる (<https://www.uluru.biz/>)

ULU-RU

労働力不足解決カンパニー

うるるは、労働力不足問題解決のリーディングカンパニーとして、働きたくても働けない「埋もれている労働力」と、IT・AIによって今後代替される可能性が高い「埋もれゆく労働力」の2つから生み出される、「埋蔵労働力資産」の創出・活用を軸に事業を展開しております。

「IT・AIと人のチカラ」をかけ合わせた複数のSaaSの提供を通じて、「労働力不足を解決し 人と企業を豊かに」というビジョンを実現してまいります。

設立：2001年8月31日

所在地：東京都中央区晴海3丁目12-1 KDX 晴海ビル9F

代表者名：星 知也

事業内容：

◆CGS (Crowd Generated Service) 事業 ※CGSとは、クラウドワーカーを活用したうるる独自のビジネスモデル

- ・電話代行サービス「[fondesk \(フォンデスク\)](#)」
- ・電話自動応答サービス「[fondesk IVR \(フォンデスク アイブイアール\)](#)」
- ・入札情報速報サービス「[NJSS \(エヌジェス\)](#)」「[nSearch \(エヌ・サーチ\)](#)」
- ・幼稚園・保育園向け写真販売システム「[えんフォト](#)」
- ・出張撮影サービス「[OurPhoto \(アワーフォト\)](#)」

◆クラウドソーシング事業

- ・プラットフォーム「[シュフティ](#)」の運営

◆BPO 事業 ※

- ・総合型アウトソーシング「[うるる BPO](#)」
- ・高精度のAI-OCRサービス「[eas \(イース\)](#)」
- ・障害者雇用トータル支援サービス「[eas next \(イース ネクスト\)](#)」

※ 株式会社うるる BPO にて運営

【GovTech Bridge Conference に関するお問い合わせ】

「GovTech Bridge Conference 2025」運営事務局：担当 埴田

E-Mail：govtech_bridge@uluru.jp

■報道関係者のお問い合わせ先

株式会社うるる ブランド戦略部

TEL：03-6221-3069 E-Mail：pr@uluru.jp